どうしてそう言うの？ 慣用句①

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ことばの「すがた」と「意味」の、にているところを見つけよう

慣用句の「意味」（＝のあと）と「すがた」の文を読みます。
すがたのどこが意味ににているか、ア・イ・ウから1つ選んで□に記号を書きましょう。
まちがいは2とおり。「すがたにあっても意味と関係ない」か「意味に合いそうでもすがたにない」です。

れい **花を添える** ＝ はなやかさをそえて、引き立てる。

すがた ふつうの食たくに、小さな花を一本そえる。

どこがにている？ **花が一本ふえて、ぱっと明るくなるところ**
→はなやかになる、ということとにているね。

(1) 羽を伸ばす ＝ しばられずに自由になって、のびのびと休む。

すがた 葉のしげった木の上で、鳥がつばさを大きく広げて、ぐーんとのばす。

どこがにている？
ア 葉のしげった木の上にいるところ
イ はねを思いきりひらくところ
ウ かごの外へ出ていくところ
□

(2) 袖を引く ＝ さりげなく合図をして、注意をうながす。

すがた 人ごみで、友だちの服のそでを、そっと引っぱる。

どこがにている？
ア くいっとひいて、気づかせるところ
イ 手をふって、大きな声でよぶところ
ウ 人ごみの中にいるところ
□

(3) 腕を振るう ＝ 持っている力を、思いきり出しきる。

すがた 校庭で、うでをぐるりと大きくまわして、ボールを力いっぱい投げる。

どこがにている？
ア 広い校庭にいるところ
イ テストで、いい点をとるところ
ウ ぐんと大きくふりぬくところ
□

(4) 尻に火がつく ＝ 物事がせまってきて、落ち着いていられなくなる。

すがた キャンプ場で、おしりに火がついて、あつくてたまらず、とび上がる。

どこがにている？
ア ちこくしそうで、そわそわ時計を見るところ
イ キャンプ場で、ひとりでいるところ
ウ たえられず、はねおきるところ
□

(5) 身を引く ＝ 今の立場から、しりぞく。

すがた ならんだ列の先頭にいた人が、ひとり、ゆっくりうしろへ下がる。

どこがにている？
ア ならんだ列に、人がいるところ
イ 前にいた人が、うしろへ下がるところ
ウ 大きな門から出て、そのまま去っていくところ
□

(6) 影を落とす ＝ ある出来事が、悪いえいきょうをあたえる。

すがた まっすぐで明るい道に、大きな木のかげが落ちて、あたりが暗くなる。

どこがにている？
ア 光がさえぎられて、かげになるところ
イ 雨がふって、どろがはねるところ
ウ まっすぐで明るい道がつづくところ
□

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

どうしてそう言うの？ 慣用句②

「にているところ」のことばを、語群からえらんで入れよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

「すがた」を読んで、下の「にているところ」の文の□に入ることばをえらびます。
□は(1)～(6)に一つずつ。語群のア～シから一つえらんで、□に記号を書きましょう。
語群は十二こです。同じ記号は一回ずつしかつかえず、六つはつかいません。

れい **花を添える** ＝ はなやかさをそえて、引き立てる。

にているところ **すがたの「花が一本ふえて、ぱっと明るくなる」ところが、意味の「引き立てる」ににている。** （語群からえらんだことばを、□に入れたかたち）

語群

ア	教室で、りんごとみかんがある	**キ**	かげにかくれて、のぞきこむ
イ	白と黒がまざらず、きれいに分かれる	**ク**	へこんだ所に土を足して、同じ高さにする
ウ	ほった形が、あとまで消えない	**ケ**	二つを左右にのせて、つりあいを見る
エ	むっとして、ぶつぶつもんくを言う	**コ**	ばんの上にごいしがならぶ
オ	すれすれを、そっと通りぬける	**サ**	まゆの間にしわがよって、顔つきがかわる
カ	公園で、石とのみがある	**シ**	校庭で、地めんにあながあいている

(1) 胸に刻む ＝ 忘れまいと、心に深くとどめる。

すがた 公園で、石にのみで文字をほって、のこす。

にているところ すがたの □ ところが、意味の「わすれない」ににている。

(2) 天秤にかける ＝ 二つのことをならべて、どちらがよいか考える。

すがた 教室で、てんびんの両はしにりんごとみかんをのせて、重さのちがいを見る。

にているところ すがたの □ ところが、意味の「どちらがよいか考える」ににている。

(3) 穴を埋める ＝ 足りない分を補って、元どおりにする。

すがた 校庭で、地めんにあいたあなに、土をどんどん入れて、たいらにならす。

にているところ すがたの □ ところが、意味の「元どおりにする」ににている。

(4) 白黒をつける ＝ 物事の善悪を、はっきりさせる。

すがた ばんの上の白と黒のごいしを、色ごとに分けてならべる。

にているところ すがたの □ ところが、意味の「はっきりさせる」ににている。

(5) 眉をひそめる ＝ いやな気もちや心配事で、顔をしかめる。

すがた 電車で、大きな声で話す人を見て、となりの人がまゆの間にしわをよせる。

にているところ すがたの □ ところが、意味の「顔をしかめる」ににている。

(6) 目をかすめる ＝ 人が見ていないすきに、こっそり何かをする。

すがた ろうかで、先生の目のはしを、すれすれにそっと通りぬける。

にているところ すがたの □ ところが、意味の「こっそりする」ににている。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

どうしてそう言うの？ 慣用句(かんようく)③

意味はかくれています。「すがた」と「にているところ」から見つけよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

意味は書いてありません。「すがた」と「にているところ」から考えます。
ア・イ・ウから、たとえの意味を一つえらんで、□に記号を書きましょう。
字のとおりのできごとではなく、たとえの意味をえらびます。

れい **花を添(そ)える**

すがた	ふつうの食たくに、小さな花を一本そえる。
にているところ	**花が一本ふえて、ぱっと明るくなるところ**
意味は	**→はなやかさをそえて、引き立てる。**

(1) 目の色(め いろ)を変える

すがた	おもちゃ売り場に入ったとたん、ひとみがぎらりと光り、かけだす。
にているところ	**ひとみが光って、目つきがかわるところ**
意味はどれ？	**ア** 人に先をこされないよう、いそいでかけだす。 **イ** ぎらぎらした目つきで、ある物事に熱中する。 **ウ** なにを見ても、むかんしんで目つきがとろんとする。

□

(2) 息(いき)が詰(つ)まる

すがた	せまいエレベーターに、おおぜいがぎゅうぎゅうにつまり、息がしづらい。
にているところ	**まわりからおされて、すきまがなくなるところ**
意味はどれ？	**ア** ひろびろした所で、ゆったりくつろぐ。 **イ** ぎゅうぎゅうの中で、きんちょうして苦しく感じる。 **ウ** おおぜいで集まって、にぎやかで楽しくなる。

□

(3) 身(み)に余(あま)る

すがた	小さな子が、大人用の大きなふくを着て、そでが手より長くあまっている。
にているところ	**ふくが大きすぎて、体に合わないところ**
意味はどれ？	**ア** 自分には大きすぎるほど、りっぱである。 **イ** 大人になったように、せのびして、かっこよくふるまう。 **ウ** ちょうどよく合って、あたりまえである。

□

(4) 身の毛がよだつ

すがた	暗いろうかで、うしろから音がすると、うでの毛がいっせいに立つ。
にているところ	**毛がいっせいに立って、体がぞわっとするところ**
意味はどれ？	**ア** 暗い所で、そっと歩いて、音をたしかめる。 **イ** ほっとして、あたたかい気もちになる。 **ウ** 毛が立つほど、とてもおそろしくて、ぞっとする。

□

(5) 腰砕(こしくだ)け

すがた	どひょうで、力いっぱい組んだのに、ひざの力がぬけて、すわりこむ。
にているところ	**さいしょは強いのに、あとから力がぬけるところ**
意味はどれ？	**ア** いきおいよく始めたことが、とちゅうで弱まる。 **イ** さいごまで同じいきおいで、強いまま進む。 **ウ** 力いっぱい体を組み合わせて、ねばりづよくがんばる。

□

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

どうしてそう言うの？ 慣用句④

はじめて見ることばを、「すがた」から考えよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

はじめて見る慣用句です。各問の「すがた」の文だけを手がかりに、意味をえらびます。
ア・イ・ウから一つえらんで、□に記号を書きましょう。
すがたの文のうち、「どこで・いつ」ではなく、「何がどうなる」に注目します。

れい　花を添える

すがた　ふつうの食たくに、小さな花を一本そえる。

ポイント　**何がどうなる？→花が一本ふえて、ぱっと明るくなる**

意味は　**→はなやかさをそえて、引き立てる。**

(1) 蚊帳の外

すがた　夏の夜、みんなは大きなあみの中で楽しく話すのに、ひとりだけ外にいる。

意味はどれ？

ア　あみの中で、夏のあつさをさけて休んでいる。
イ　みんなの輪に入れず、ひとりだけ仲間はずれになる。
ウ　みんなの中心で、わいわい楽しく話している。

□

(2) 尾を引く

すがた　ほうきぼしが、長い尾を空にのこしながら、よこぎっていく。

意味はどれ？

ア　さっと終わって、あとはすっかりわすれられる。
イ　空をよこぎって、遠くへ行く。
ウ　終わったあとも、えいきょうが長くのこる。

□

(3) 鵜のみにする

すがた　うが、とった魚をかまずに、まるごとのみこむ。

意味はどれ？

ア　たしかめずに、そのまま受け入れる。
イ　よく考えて、ひとつずつたしかめている。
ウ　とった魚を、みんなに自まんして、ほめてもらう。

□

(4) 虎の尾を踏む

すがた　山おくで、ねている大きなとらのしっぽを、ぐっとふみつける。

意味はどれ？

ア　大へんな物に近づいて、あぶないことをする。
イ　とらのように強くなって、まわりの人をまもる。
ウ　あんぜんな方をえらび、おとなしくする。

□

(5) 屋台骨が傾く

すがた　やたいの中心のはしらが、ななめにかたむいて、いまにもたおれそうになる。

意味はどれ？

ア　やたいが大にぎわいになる。
イ　どっしりした土台で、長く元気にさかえる。
ウ　会社のささえがゆらいで、あぶなくなる。

□

(6) 後ろ髪を引かれる

すがた　えきで電車に乗ろうとして、うしろからかみの毛を引っぱられ、足が進まない。

意味はどれ？

ア　すっきり気もちを切りかえて、元気に前へ進む。
イ　心残りで、きっぱりとあきらめきれない。
ウ　電車の時間が気になって、気もちがせわしい。

□

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

どうしてそう言うの？ 慣用句⑤

にているところを、自分のことばで書いてみよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

各問の「すがた」の文と「意味」（＝のあと）を見て、「にているところ」を2行で書きましょう。
「つかうことば」のすがたのことばは1行め、意味のことばは2行めに、1つずつつかいます。

れい **花を添える** ＝ はなやかさをそえて、引き立てる。

すがた ふつうの食たくに、小さな花を一本そえる。

つかうことば **すがた【ふえて】意味【引き立てる】**

すがたの **花が一本ふえて、ぱっと明るくなる** ところが、

意味の **はなやかに引き立てる** ことににている。

(1) **手を染める** ＝ ある物事に、関わり始める。

すがた 白いぬののはしを、あおい水にちょんとつけると、そこから色がひろがる。

つかうことば **すがた【色がひろがる】意味【関わり始める】**

すがたの ＿＿＿＿＿＿＿＿ ところが、

意味の ＿＿＿＿＿＿＿＿ ことににている。

(2) **膝を突き合わせる** ＝ 親しく近づいて、じっくり話し合う。

すがた ふたりがむかい合ってすわり、ひざとひざがふれあうほど近い。

つかうことば **すがた【近い】意味【じっくり】**

すがたの ＿＿＿＿＿＿＿＿ ところが、

意味の ＿＿＿＿＿＿＿＿ ことににている。

(3) **お鉢が回る** ＝ 順番に、役目が自分に回ってくる。

すがた ごはんのおひつを、じゅんばんにとなりへまわし、ついに自分の前に来る。

つかうことば **すがた【じゅんばんに】意味【役目】**

すがたの ＿＿＿＿＿＿＿＿ ところが、

意味の ＿＿＿＿＿＿＿＿ ことににている。

(4) **目がくらむ** ＝ 強い刺激で、正しく判断できなくなる。

すがた まぶしい光を見たとたん、目の前がまっ白になって、まっすぐ歩けない。

つかうことば **すがた【まっ白】意味【判断】**

すがたの ＿＿＿＿＿＿＿＿ ところが、

意味の ＿＿＿＿＿＿＿＿ ことににている。

(5) **息を凝らす** ＝ 音を立てないようにして、気もちを集中させる。

すがた かくれんぼで、おにの足音が近づくと、息をとめてじっとする。

つかうことば **すがた【息をとめて】意味【集中】**

すがたの ＿＿＿＿＿＿＿＿ ところが、

意味の ＿＿＿＿＿＿＿＿ ことににている。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます